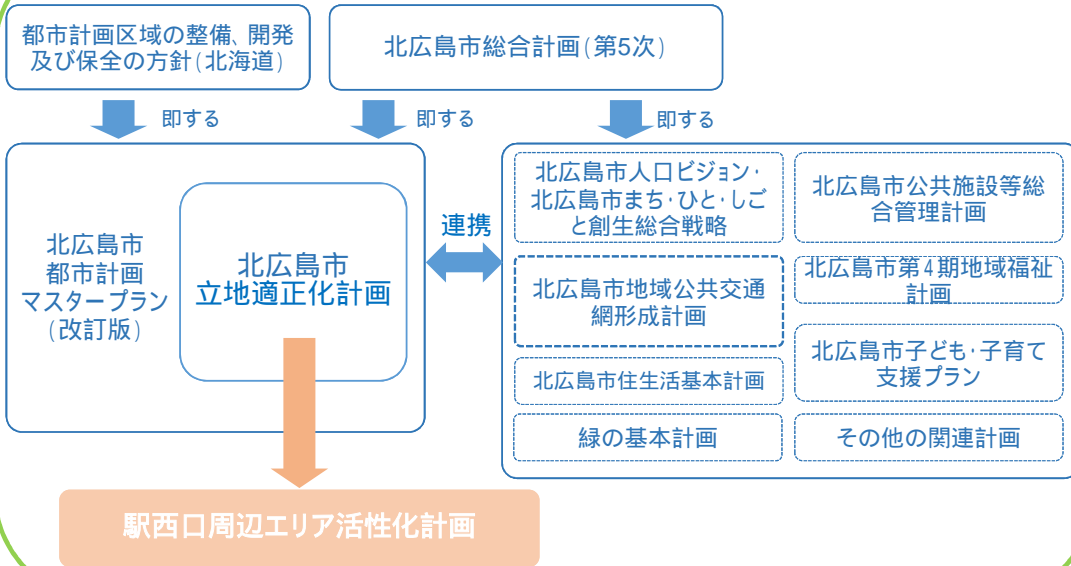


# 【概要】 駅西口周辺エリア活性化計画（案）

## 計画策定の背景、目的

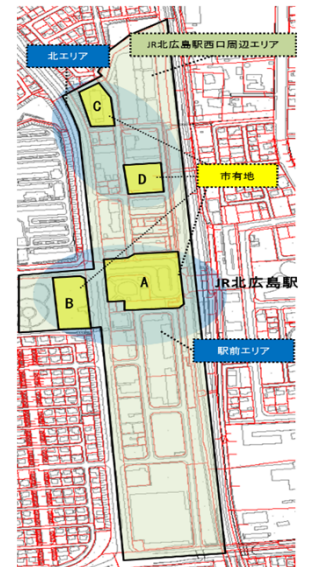
- 本市の機能充実を図る区域である拠点地区に位置付けているJR北広島駅周辺エリアは、2023年のボールパーク開業後において、ボールパークへのアクセス拠点になることが見込まれており、当該エリアが担う役割は、ますます重要なものとなるが、駅西口周辺エリアにおいて、未利用市有地等が残されている。
- 以上より、ボールパークへのアクセス機能整備と併せて、駅周辺エリアの魅力と価値を高めるような市有地の効果的な活用及び、私有地を含めた一体的な土地利用・機能整備を進める必要があることから、その指針となる本計画を策定する。（令和2年度～令和11年度（10年間））

## 位置付け



## まちづくり重点エリア

- JR北広島駅西口周辺エリア  
立地適正化計画に定める都市機能誘導区域のうち、都市計画で定める用途地域が商業地域、栄町2丁目1番及び北広公園を含むエリア
- 重要なエリア  
駅前エリア  
AB(市有地)を含む周辺エリア



# 【概要】 駅西口周辺エリア活性化計画（案）

## 基本理念

歩行者及び車両等が安全で快適に移動できる導線確保を中心に、居住、商業及び子育て支援等の都市機能を集積し、**民間活力を最大限に生かした**魅力ある拠点地区の形成

## 基本方針

歩きやすく、移動しやすい、多様な利用者にやさしい駅前広場  
たくさんの人が訪れる、北広島の顔として魅力あふれるエリア  
多様な世代が住みやすいまち

**公募型プロポーザルによる  
一体的な整備**

## 整備方針

- (1) アクセス機能の整備  
ボールパーク開業までに、全ての人・車両が円滑に駅を利用できるよう整備
- (2) 都市機能の集積  
誘導施設について、引続き集積に努め、地域経済活性化及び定住人口の増加等を推進
- (3) 多様な世代における定住の促進  
若者・子育て世代から選ばれる魅力を持ち、高齢者が安心して住み続けられる住環境づくり

## 各エリアの方向性

- 【求められる機能】
- (1) 駅前エリア（A・B）  
すべての人・車両が円滑に移動できる駅前広場、住居、商業、子育て支援、多様な世代が利用できる多目的交流スペース
  - (2) 北エリア（C・D）  
住居
- 【方向性】  
各エリアとも、市の財政負担軽減も含め、民間活力を最大限生かしたまちづくりを進める必要がある。